岸和田市立桜台中学校

桜台中通信　No.6

校訓「自主・敬愛・健康」

令和２年８月７日発行　　校長　笠川智香

１学期が終わりました。まずは頑張った自分をほめてあげましょう。そして１６日間の夏休みを有意義に過ごしてください。心と体を休めるとともに、今だからできることに取り組んでみましょう。スマホ画面から離れ、部屋の片づけや整理、ＤＩＹや料理、自由課題などいろいろ挑戦するのもよいでしょう。短いからこそワクワクできることを見つけましょう。ちなみに私がやりたいことの一つは読書で「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」と２回目に挑戦の「かがみの孤城」です。

子供たちはすごくよく頑張っています。目立つことはたくさん見えるのですが、粛々と寡黙に頑張っている姿も先生方はちゃんと見ています。ご家庭におかれましても、まずはお子様の１学期の頑張りをねぎらい褒めてあげてください。機会を見つけて短い時間でも結構ですので、お子様との会話を大切にしてあげてください。

１学期の間、保護者の皆様には学校教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。２学期、良いスタートができるよう引き続きどうぞよろしくお願いいたします。では皆さん、良い夏休みを！！そしてまた元気に会いましょう。

◎コロナに負けずに頑張ろう！　～ 3年生に送る応援企画

今年は、大会もコンサートも全部なくなってしまいとても悲しかったので、こうしてみんなの前で披露する場をいただき、とてもうれしかったです。当日はとてもたくさんの方が聴きに来てくださり、とても良いコンサートにすることができました。ありがとうございました。

芸能部は、今年1・2年生部員で頑張っています。自分たちでできる３年制への応援メッセージを考え、まさに表題にある『コロナに負けずに頑張ろう！』のボードメッセージを掲げ、笑顔で完舞。その姿に感動しました。ありがとう。

To
Be
Continued

◎暑さに負けない

８月に入り、暑い日が続いています。グランドでは、体育授業で走り高跳びに挑戦しており、誰かが成功すると歓声と拍手が沸き起こっていました。

◎８月６日・・・慰霊の日の朝

「７５年前の今日、広島に原爆が投下されました・・。」。教頭先生の放送で始まった朝のホームルーム。話の後に全生徒で黙とうを捧げました。当時、広島市にいた３５万人のうち、約１４万人が爆風や熱線、放射線で亡くなり、今も後遺症に苦しむ人々がいます。「広島には草木も生えないだろう」と言われるほど絶望的であった当時ですが、焼け焦げたガレキの間から赤いカンナが花開き、これを見た人々は生きる勇気と希望を持ったそうです。小学校の修学旅行で訪れた人もいるかと思います。

本校は、沖縄への修学旅行を実施しています。それは「平和」の尊さを実感して欲しいとの思いがあるからです。第二次世界大戦が終わって長い年月が経ち、戦争の悲惨さを経験した人がいなくなりつつある今、日本で唯一、地上戦が行われた沖縄で、今も残る戦争の傷跡を見学することで、愚かな戦争の悲惨さを見つめて下さい。そして、平和な今を十分に実感してほしいと、近年、平和であることの危うさを感じています。今一度、ともに考えてみましょう。

◎学校協議会を開催しました・・・8/3(月)

毎年、年に３回ですが学校協議会を開いています。学校の方針や教育活動の様子を報告し、情報交換をしながら、より良い学校にするために、ご意見をいただいています。

（委嘱状をお渡ししました）

◎給食準備の様子・・・濱野教頭先生より

６月の分散登校から給食が始まりました。給食室へ当番で来てくれる子たちが、毎日クラスのみんなのためにがんばってくれています。その表情は、その日その時で変化します。チャイムと同時ぐらいに準備し始めることができた時は、余裕があるのか、友達とニコニコしながら来てくれます。授業が少し長引いた時は、早くみんなに届けるんだという急いだ顔で来てくれます。返却するときも早く返しに来た当番の子はニコニコしています。遅く返しに来ることになった子は申し訳なさそうに来てくれます。でも、立ち番をしているとみんなが一生懸命に当番をしてくれていることに『ありがとう』です。２学期もよろしくお願いします。

正しい知識と思いやり

陽性は悪ではない

心無い風評被害が人の心を傷つける。自ら感染せず、他人にも感染させない。
今こそ、思いやりと強い気持ちで、コロナを封じ込めよう！！